

KSK

発行 KSK 神奈川県障害者定期刊行物協会
〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752番地
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3F 横浜市車椅子の会内

あゆみ会報

2019年10月号 第146号

編集 湘南あゆみ会
〒254-0807 平塚市代官町21-4 SEA平塚ビル3F フレンズ湘南内
TEL/FAX 0463-24-0420
定価 50円（会員は年会費に含まれています）

報告と感想

じんかれん研修会 10月1日（火）

講演「親亡き後について」

この日の研修会は、千葉県佐倉市の家族会“かぶらぎ会”の会長として、長年に亘り献身的な働きをしておられる大賀四郎さんより、千葉県連作成の資料「精神障害者 親亡き後・自立プラン」

①、②を用いながら、熱のこもったお話をして頂きました。出席者56名 当会から11名出席

このプランには親亡き後の自立について、様々な観点から具体的な内容が書かれており、また、お話は多岐に亘り、書ききれませんので、概要だけを報告します。

先ず1ページ目には次のような言葉が書かれています。

「親離れ 子離れについて

親が人生の終末として先に死亡するのは世の習い、誰にもその時が来る。それは悲しいことであるが、子供には自立の道筋であり飛躍への一歩であると共に考えたい。親はやれることを精一杯おこないたい。完璧には出来ないかもしれないが、子供が生きていく道筋をつくろう。

・子供に自信を付けさせよう、親は子の失敗を励まそう

・衣食住を子どもが自らできるように、父母は手をひこう。

・ノーと言える勇気と判断力を持たせよう
・人の良い所を見るように、人の話を聞くように
・子との距離を意識的に広げよう、親が自ら離れるよう

・親は地域住民の理解を得るように努力しよう、オープンな付き合いを

・親は「親亡き後を心配する」が子供は自分の将来を見通せないことが心配で恐ろしく、親以上に心配なのです」

お話された主な項目

I 親亡き後・自立プラン作成に当たって

先ず親がわが家の課題を整理してみよう

住まい 生活資金 病気 暮らし 相続 遺言

II 親が生前に検討しておくこと

- 1) 住まいの見通し：GH アパート 自宅など
- 2) 生活資金の見通し：必要資金 生活保護費 GH 利用料など

3) 生活支援と医療支援の今までの対応と見直し

- ・ホームヘルプサービスの利用
- ・社協の「すまいる」サービスの利用
- ・成年後見制度の利用
- ・信託の利用
- ・親亡き後の医療機関とのかかわり
医療・福祉との距離を保っておくこと

- ・費用と申請の手順
- ・就労支援

4) 親亡き後の権利擁護

- ・相続 ・相続税 ・死亡保険金 ・遺言
- ・贈与税

III 親自身の老後の対応について

- 1) 親自身の健康状態と健康管理
- 2) 親が要介護状態になった場合の対応

- ・認知症について
- ・介護保険サービスの利用 手順 種類 費用

IV 親亡き後の具体的対応

夫が先に死亡した場合

- ・夫の財産の相続 手続きは10か月以内
- ・遺言書の有無

V 親亡き後の自立プランの作成

家族全員で協議し、自分の家に相応しい「自立プラン」を作成しましょう。

VI障害者が作成する“私の生きかたプラン”

などなど。その外、参考資料として障害年金の支給について、薬のCP換算の方法について、訪問看護ステーション利用の手順についての説明もありました。

更に自立プランその②には追加資料として

- 1) 精神障害者の終のすみか、高齢期の住まい
- 2) 兄弟姉妹について 3) 成年後見制度の利用について 4) 就労の機会・特例子会社について 5) 障害年金について などがあ、り、その中で 6) 地域住民に精神疾患を理解して頂くには、の欄には次のように書かれています。

“当事者の症状の悪化を家庭で維持できるか、地域に影響を及ぼさないかの判断は保護者には事前に分かる場合が多く、その場合は事前にかかりつけの病院や保健所、警察に連絡しておき、対応ができない時には直ちに助けの依頼をすることで、当事者が加害者にならず、被害者も出さずに済み、事前の予防が可能になると見込まれます。地域の皆様と安心して暮すには家族も地域住民と一体となった行動が必要となります。”

統合失調症1級の息子さん2人を持つ家族として、息子さんを守りつつ地域で暮らしていくために、佐倉市内14か所で研修会を行い、千葉県内で家族会加入者を増やしています。

この日の講演は大賀さんの声が残念なことにマイクに上手く入らず、聞き取り難い所もありましたが、その心意気は十分に伝わった講演でした。

資料2冊を良く読み込み、我が家のプランを立てなければと思うと同時に、この冊子に込められた大賀さんの溢れるばかりの思いと骨身を惜しまず労しておられる姿に感銘を受けました。本来ならば1部200円で頒布する冊子をこの日は無料で配布してくださいました。(谷田川記)

これからの予定のお知らせ

●10月世話人会と会報発行

10月9日(水) 13:30～
ひらつか市民活動センターC会議室

★家族による家族学習会 第1回

10月10日(木) 13:00～16:00
ひらつか市民活動センターB会議室
参加希望者6名 申込あり

◆県民の集いの下見と打ち合わせ

10月11日(金) 13:00～15:00
平塚市中央公民館事務所前集合
じんかれん理事及び実行委員

♥統合失調症家族教室(平塚保健福祉事務所)

10月17日(木) 14:00～16:00
家族会紹介・体験発表 当会より3名派遣

▲平塚市福祉会館まつり(10月定例会)

10月18日(金) 19日(土) 10:00～15:00
今年も販売部門と作品展示部門に参加します。
みどり農園の新米・産直野菜・東北支援わかめ
ミカン・柿・桜草苗などなど
当事者の力作絵画作品展示
役員総出で売り子になって頑張ります。
みなさま お出かけください。

❖大磯町横溝まつり(横溝会館)

10月20日(日) 10:00～15:00
障害者団体による、小さいけれどもこころ温まるおまつりです。秋の一日をお楽しみください。
バザーで掘り出し物を見つけよう!!

10月のサロンあゆみはお休みです。

11月は15日、12月は20日です。
大いに語り、大いに聴きましょう。



12月定例会 家族交流会

12月17日(火) 13:30～16:00
ひらつか市民活動センターA会議室



第46回 精神保健福祉「県民の集い」

11月13日（水）12:30～16:00

平塚市中央公民館大ホール

講師 夏苺 郁子 氏

「これからの精神科医療を考える
当事者・家族・医療者がお互いを理解するために
何が必要なのか～母の公表から8年を経て
思うこと」

パネルディスカッション

「現在の精神科医療は本当に人の心を治している
のでしょうか」

12:00 受付 バザー 夏苺先生書籍販売開始
12:30 アトラクション ひよこバンド
13:00 式典
13:30 講演
15:10 パネルディスカッション

お申し込み FAX 045-821-8469

お問い合わせ ☎ 045-821-8796

NPO 法人じんかれん 火・木曜日 10:00～16:00
まだお申し込みでない方、これからでも十分間に
合います。当日参加も可能です。

メール申込 (jinkaren@forest.ocn.ne.jp)

※どなたでも参加できます。お誘い合わせてお越
しください。 《無料》

※駐車場が狭いため公共交通をご利用下さい。

※車でお越しの場合は市役所、図書館、美術館の
駐車場をご利用ください。(有料)



その他のお知らせ

◆ 『 オープンダイアログの実践 』

10月26日（土）13:30～16:00

海老名市総合福祉会館 1F 楽楽室

定員 130名（先着順）無料

講師 三ッ井直子氏（訪問看護ステーション
KAZOC 看護師）

主催 海老名精神保健福祉促進会 「2πr」

問い合わせ 080-2333-4987 雙田会長

◆第12回 全国精神保健福祉家族大会

「みんなねっと愛知大会」

「誰もが幸せと感じられる社会を！」

11月7日（木）8日（金）

刈谷市総合文化センター

参加費 3000円 障害のある人 500円

学生 1000円

基調講演「社会で暮らす当事者のために精神医
学は何かできるのか：妊娠出産から自動車運転
まで」 名古屋大学大学院医学系研究所

尾崎 紀夫 教授

記念講演「ベルギーにおける地域移行について」

ベルギー保健局 バナード・イエイコブ氏

参加希望の方、資料を差し上げます。谷田川まで。

☎090-3519-8692

◆講演とシンポジウム

「精神障がいと社会的孤立～誰もが自分も

周囲も大切にできる社会について考える～」

11月30日（土）13:30～17:00

主婦会館プラザエフ 9階「スズラン」

JR 中央線・総武線四ツ谷駅麴町出口歩1分
講師 青木聖久氏（日本福祉大学教授）

申込 11月23日まで

資料代 500円 誰でも参加できます

申込書あります。090-3519-8692 までご連絡
下さい。

